

「英語で教室から世界とつながる」プラットフォーム事業

“Opening a New World from the Classroom” Project, Hiroshima



交流授業

Cheonan Ssangyong Middle School



第1回交流授業

Where is our city,
Fukuyama?



Name of our School



各校の紹介クイズ（動画・スライド）



I want to go to Korea



ブレイクアウトルームでの会話
（自己紹介＆クイズ）

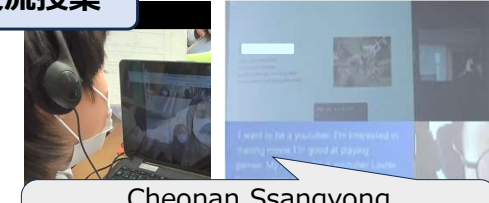


福山市立東中学校

第2回交流授業



日常会話の交流、スライドでの自己紹介



Cheonan Ssangyong Middle Schoolの中学生の
自己紹介とミッション遂行！

①学校・地域紹介（全体）

Cheonan Ssangyong Middle School の
担当教員、東中学校代表生徒がCanva（写真・動画）やGoogle スライドで自分たちの学校を紹介した。

自分たちの学校や地域についての紹介クイズを行った。

チョンアンサンヨン中

- ・学校名、場所など
- ・チョンアン市について
- ・有名な食べ物

東中（生徒作成）

- ・学校名、場所、生徒人数など
- ・福山市について
- ・東中学生の好きな韓国料理ランキング

②自己紹介（グループ）

ブレイクアウトルームで東中学校の生徒がGoogle スライドを使って自己紹介やクイズを行った。

《接続方法：Zoom》

①韓国生徒による自己紹介（全体）

Cheonan Ssangyong Middle Schoolの生徒がPadletで自己紹介（将来の夢）を行った。
東中学校の生徒からの質問にCheonan Ssangyong Middle Schoolの生徒が答えた。
韓国語、日本語による日常会話の交流（※挨拶等の簡単な表現）を行った。

②自己紹介（グループ）

ブレイクアウトルームでCheonan Ssangyong Middle Schoolの生徒が自己紹介を行い、その内容について両校の生徒がやり取りを行った。
東中学校の生徒が自分が決めたミッションに挑戦した。

- ミッション例
- ・相手の名前を覚える
 - ・自分の名前を覚えてもらう
 - ・相手の好きなアニメや有名人を聞き出す

《接続方法：Zoom》

大切にしたこと

- ・ゴールイメージを生徒と共有し、生徒自身がミッションを考え、目標達成に向けて自主的に活動が行えるようにした。
- ・ブレイクアウトルームを使って、個々の生徒ができるだけ多くの時間、英語でやり取りできるようにした。
- ・できなかったことをできるようにするためには、どうすればいいのかを考えさせ、実行させた。
- ・実際の交流活動を成功させるために、帯活動等において、4月から様々なトピック、場面設定で自分の意見が簡単な英語で話せるようにした。
- ・困難なことがあってもあきらめずに、自分たちで工夫しながら活動を続けることができるように日頃から支援した。

交流を終えて

生徒の声

- ・外国の友達ができて嬉しかった。自分の言いたいことや相手の言いたいことを伝え合えて楽しかった。
- ・韓国の生徒がせっかく話してくれたのに、分からない単語があって理解できなかったのが悔しかった。英語をもっと勉強したいと思った。
- ・学校で習ったことが役に立った。
- ・いい経験になった。卒業まで韓国との交流を続けたい！

先生の声

- ・多くの生徒にとって、とても有意義な取組になった。生徒たちは、初めは思うようにいかず、戸惑うことが多かったが、試行錯誤しながらも、伝えたいことが自分の言葉で伝わった時の生徒の喜びと笑顔は忘れられない。外国の中学生とつながる嬉しさ、楽しさや、普段の授業で学習したことが実際に役立ったと実感してくれたと思う。
- ・これからの交流を有意義なものにするためにも、生徒にどのようなことができるようになってほしいかなど、具体的なゴールイメージをきちんともって授業づくりを行い、生徒が楽しく学習していけるよう支援していきたいと思う。